

財政収支(2018年1-2月)

(1) 2018年1-2月における歳入は前年同月比12.8%増。所得税及び法人税が大きく伸び、税収は18.3%の増加となった。

(2) 歳出面では、資本的支出が前年同月から大幅増となるなど、歳出全体では18.1%の増加となった。

(3) 財政収支は2億リラの赤字となり前年同月から104.4%の減少。プライマリーバランスは23.2%減少し、125億リラの黒字。

データ:財務省 単位:百万リラ

| 歳入・歳出内訳 | 2017年(A) | 2018年(B) | 増加率 ((B-A)/A) |
|------------------|----------|----------|------------------|
| 歳入(a) | 105,675 | 119,219 | 12.8% |
| 税収 | 88,415 | 104,554 | 18.3% |
| 所得税 | 16,565 | 20,846 | 25.8% |
| 法人税 | 11,720 | 15,866 | 35.4% |
| 付加価値税(国内及び輸入) | 25,026 | 28,168 | 12.6% |
| 特別消費税 | 19,644 | 21,506 | 9.5% |
| その他税収 | 15,460 | 18,168 | 17.5% |
| 税外収入等 | 17,260 | 14,665 | ▲15.0% |
| 歳出(b) | 101,086 | 119,420 | 18.1% |
| 人件費 | 29,031 | 33,422 | 15.1% |
| 物品及びサービスの購入 | 6,368 | 7,564 | 18.8% |
| 経常移転 | 44,381 | 46,446 | 4.7% |
| 資本支出 | 1,779 | 9,115 | 412.4% |
| 支払利子(c) | 11,674 | 12,689 | 8.7% |
| その他歳出 | 7,853 | 10,184 | 29.7% |
| 財政収支(a-b) | 4,590 | ▲201 | ▲104.4% |
| 基礎的財政収支(a-(b-c)) | 16,264 | 12,489 | ▲23.2% |

経常収支(2018年1月)

(1) 2018年1月の経常収支は、前年同期比163.4%減少し、71億ドルの赤字。

(2) 貿易収支は前年同期比146.5%の減少、旅行収支は同18.3%の増加。

データ:中央銀行 単位:百万ドル

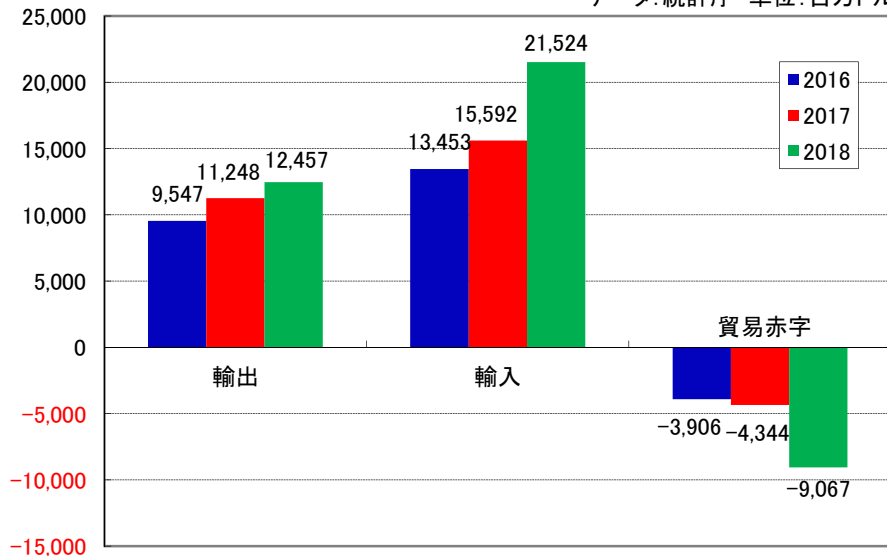
| 内訳 | 2017年(A) | 2018年(B) | 増加率 ((B-A)/A) |
|------------|----------|----------|------------------|
| 経常収支 | ▲2,694 | ▲7,096 | ▲163.4% |
| 貿易収支(物品) | ▲3,097 | ▲7,634 | ▲146.5% |
| サービス収支 | 631 | 919 | 45.6% |
| 旅行収支 | 695 | 822 | 18.3% |
| その他サービス収支 | ▲64 | 97 | 251.6% |
| 第1次所得収支 | ▲397 | ▲479 | ▲20.7% |
| 第2次所得収支 | 169 | 98 | ▲42.0% |
| 労働者送金 | 44 | 28 | ▲36.4% |
| その他第2次所得収支 | 125 | 70 | ▲44.0% |
| 資本移転等収支 | ▲13 | 33 | 353.8% |
| 金融収支 | ▲5,110 | ▲8,298 | ▲62.4% |
| 直接投資 | ▲437 | ▲288 | 34.1% |
| 証券投資 | ▲1,600 | ▲4,917 | ▲207.3% |
| その他投資 | ▲1,018 | ▲7,474 | ▲634.2% |
| 外貨準備 | ▲2,055 | 4,381 | 313.2% |
| 誤差脱漏 | ▲2,403 | ▲1,235 | 48.6% |

貿易収支(2018年1月)

(1) 2018年1月の輸出額は125億ドル(前年比10.8%増)、輸入額は215億ドル(同38.1%増)となり、この結果、貿易収支は91億ドルの赤字(同108.7%減)となった。

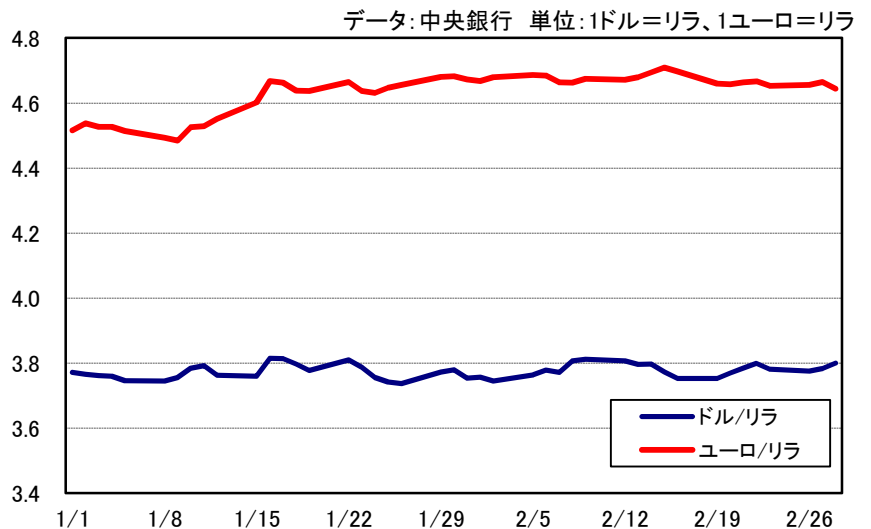
(2) 2018年1月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は52.3%(前年47.0%)、輸入額におけるEU向け輸入の占める割合は32.2%(同33.1%)となっている。

データ:統計庁 単位:百万ドル



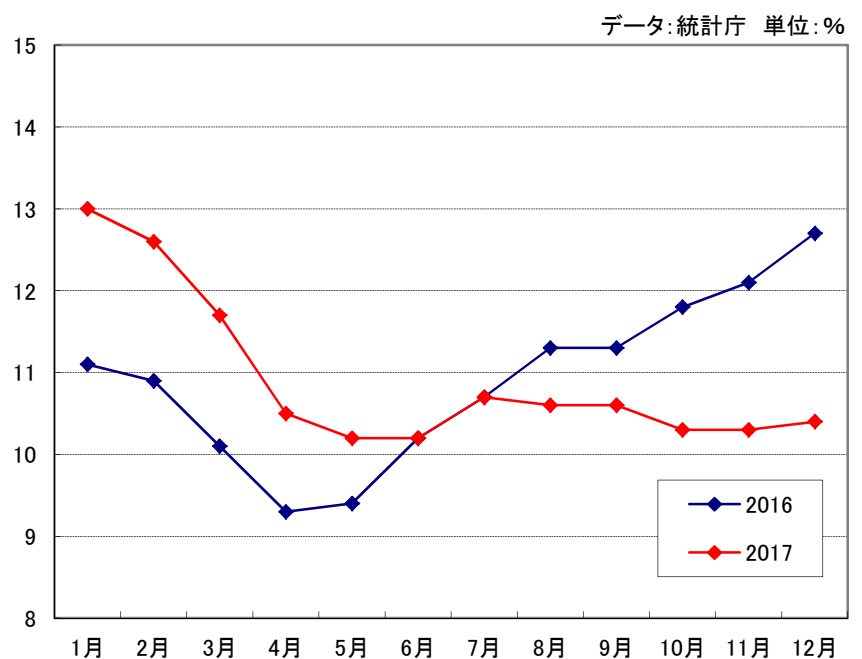
為替(2月)

(1)2月のドル・リラ相場は、月を通して比較的横ばいとなり、最終的には、1ドル=3.80リラとなった。
 (2)ユーロ・リラ相場は1ユーロ=4.70リラを超えたものの、安定的に推移し、最終的に1ユーロ=4.64リラで越月した。



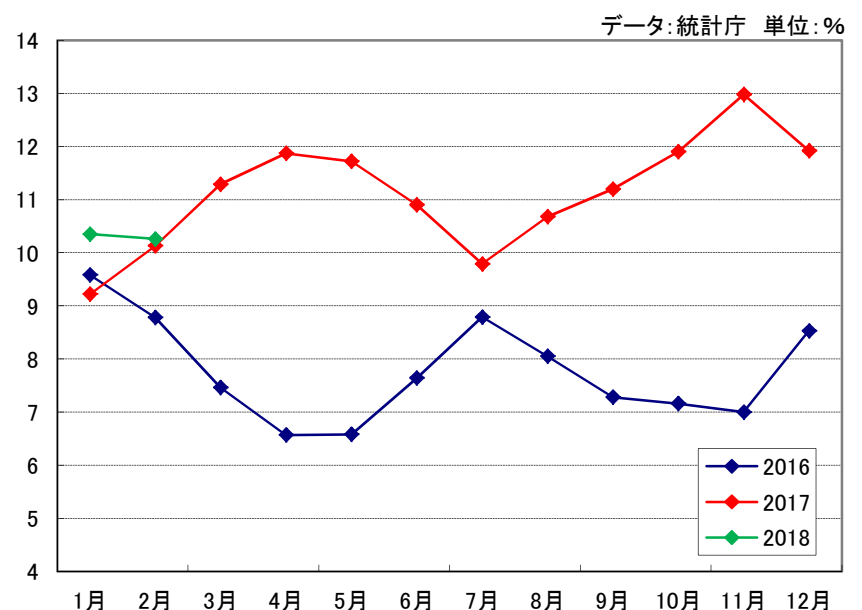
失業率(12月)

(1)2017年12月期の失業率は、10.4%。前年同期から2.3ポイントの下落、前月から0.1ポイントの上昇。
 (2)労働力人口は3,158万人、就労者数は2,829万人、失業者数は329万人。
 (3)男性の失業率は9.1%、女性は13.1%。若年層(15-24歳)の失業率は19.2%となっている。



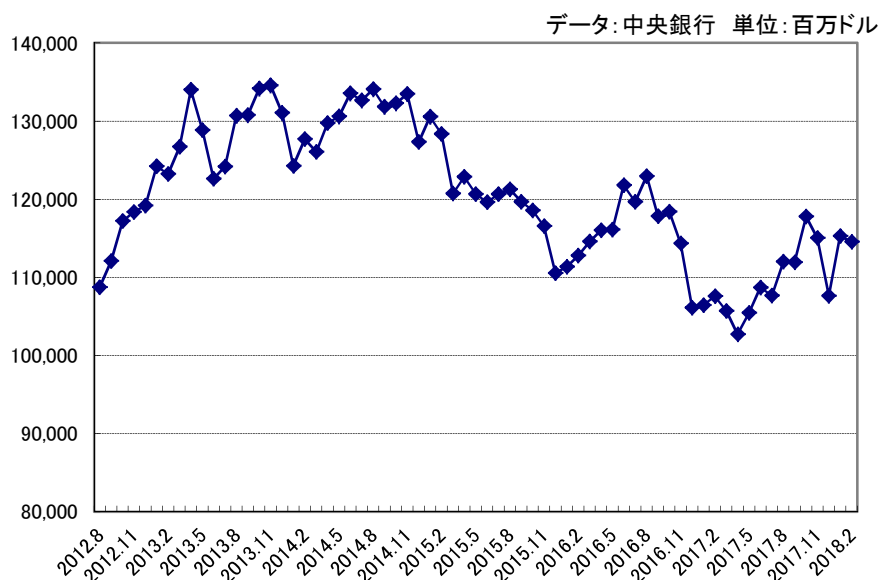
物価上昇率(2月)

(1)2018年2月の消費者物価は前月から0.73%の上昇。年間では10.26%の上昇。
 (2)分野別に見ると、前月と比べて最も上昇したのは医療・保健で2.57%。年間で最も上昇したのは家具・住宅設備で15.66%。
 (3)本年末の中銀見通しは7.9%。
 (4)国内生産者物価指数は前月から2.68%上昇し、年間で13.71%の上昇となった。



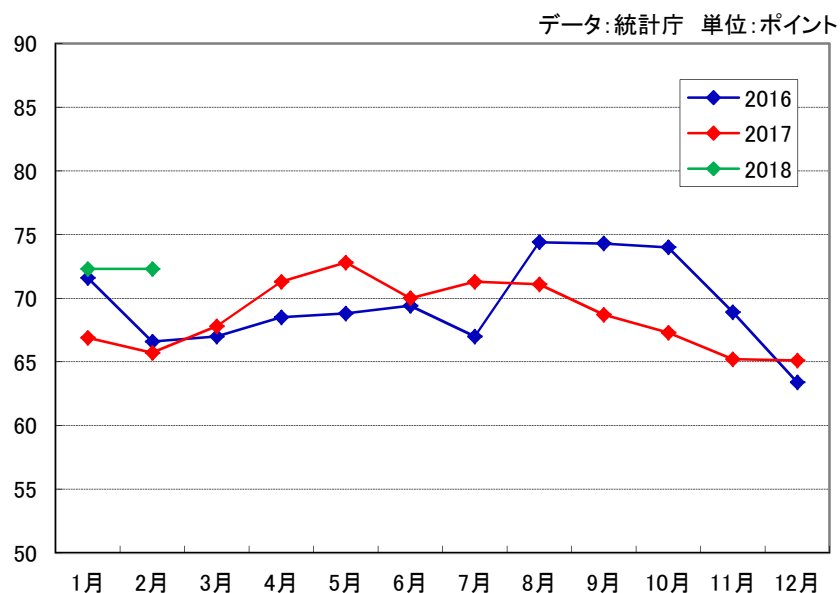
外貨準備高(2月)

(1)2018年2月時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,146億ドルとなった。
 (2)外貨準備高は、一時は2012年の水準に落ち込んでいたが、現在ははや増加傾向にある。



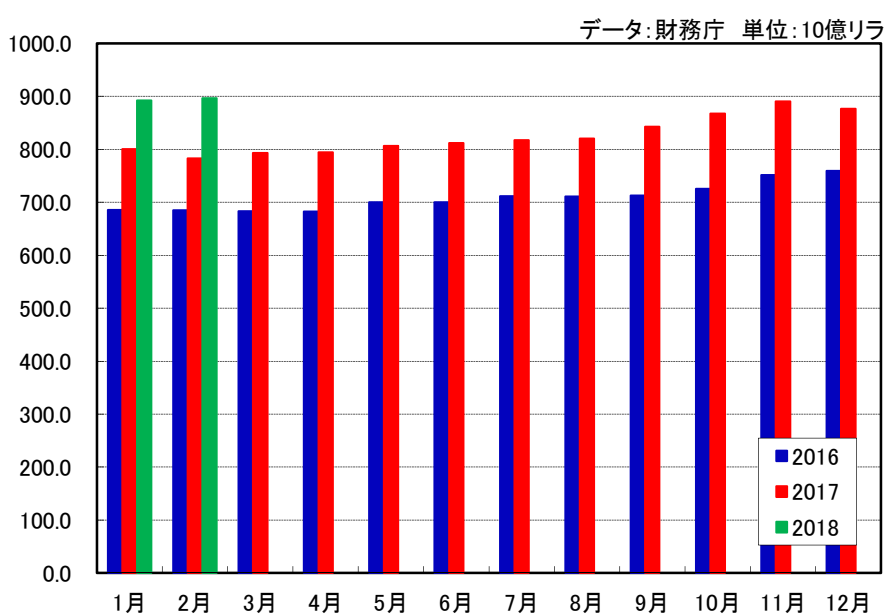
消費者信頼感指数(2月)

(1)2018年2月期の消費者信頼感指数は前月から0.1%下落し72.3ポイントとなった。
 (2)内訳では、一般経済見通しが0.7%上昇し96.8ポイントとなったのに対し、貯蓄可能性が1.9%下落し25.7ポイントとなった。



中央政府債務残高(2月)

(1)2018年2月時点での中央政府債務残高は8,968億リラとなり、前年同期比14.5%増加した。なお、前月比では0.5%の増加となった。
 (2)また、国内債務比率と自国通貨債務比率は共に60.6%となっている(2017年末61.1%)。
 (3)なお、円建て外債(サムライ債)の発行により、債務残高のうち円は2.8%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。